

■防災教育や防災知識の普及

【常陸河川国道事務所】

「みんなで学ぼう！水防災」をテーマに水防災に関するシンポジウムを開催（H28.12.17）会場：茨城県常陸太田市

○昭和61年8月久慈川・那珂川大洪水から30年が経過したことを受け、当時の被害の様子を振り返るとともに、水防災への理解を深めていただくことを目的に、クイズ形式による講座、体験型防災ゲーム、パネル展、降雨体験車を展示し、参加者に楽しみながら学んでいただく「水防災に関するシンポジウム」を開催。

○常陸太田市及び近隣市町より、子供から大人までの幅広い年齢層の方々、約100名に参加いただいた。



30年前の大洪水を振り返る



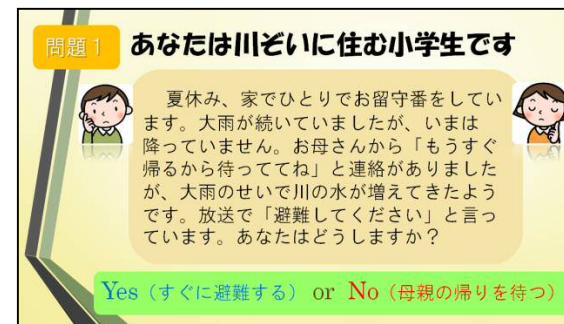
減災対策協議会の取組を紹介



豪雨を体験

○防災ゲーム「クロスロード」

二者択一の設問にYesまたはNoの決断をし、グループディスカッションを行った。



実際に出題した問題



Yes Noカードを用いて意思表示



決断した意見についてグループで議論

参加者コメント

- ・いざという時のために日頃から家族や地域の方々と話し合う必要があると感じました。
- ・小学生からお年寄りまでいろいろな立場の方と意見交換ができるよかったです。子どもにとってはとても良い経験となつた。

○久慈川・那珂川の大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」を目指すためには、国・県から説明したハード対策（第1のツール）、ソフト対策（第2のツール）に加え、自分自身が災害への構えを日頃から持っていくこと（第3のツール）が必要であることを学んでいただいた。